

♪ 宗次ホールおすすめ公演情報 2017年12月~18年1月前半 ♪

チケットのご予約は 宗次ホール チケットセンターへ 052-265-1718

今年もあと1か月！12月27日まで、コンサートチケット購入にご利用頂ける「ギフト券」を10,000円分買うと3枚おまけのプレゼント招待券がついてくるお得なキャンペーンを開催していますので、この機会にどうぞご利用ください。(それを3セットご購入頂くと、更にお得なプレゼント付。10周年の今年のみ限定セットです！)

2017年を、思い出に残る素敵な演奏会で締めくくって下さい♪ (文責:宗次ホール企画担当 廣田 政子)

!!!豪華メンバー!!!

川口リリア(埼玉)で18年間、20回にわたり名演奏を繰り広げたアンサンブルの中心となる名手たちの共演!!!

加藤 知子 ヴァイオリン 川田 知子 ヴァイオリン
店村 眞積 ヴィオラ 原田 禎夫 チェロ

12月9日(土)18:00開演 4,500円(学生2,700円)【指定】



ヴァイオリン加藤さんを中心に、数多くの名演奏家達が川口の音楽ホール、「リリア」開館以来18年間に渡り名演を繰り広げたシリーズ。その中心メンバーが宗次ホールで初共演！それぞれのソロと、シューベルト「死と乙女」を聴くことが出来る、贅沢なプログラムです！

今回は、このアンサンブルの核となる加藤知子さんの『クラシックニュース』のインタビューをご紹介します。

「若い時は体が元気ですし、突っ走れた。私も筋肉には自信がありましたし(笑)それは若さの勢いであり、良い事でもありましたが、年を重ねるとそれが変わってくる。それと同時に、「自分は何が出来るのか」ということを考えるようになりました。子供の頃から先生に繰り返し言われてきた“楽譜をよく見る”ということ、今まで見えなかったことが、奥から滲み出て、見えてくるようになりました。行間にあるものが感じられるようになってきたのではないかと、それを表現したい、という気持ちが強くなってきました。(今まで何度も演奏した曲でも)こんなにいい曲だったんだ！と思えたり、共感を覚えたり。」

弾くこと自体がとても大変で、楽器と格闘ばかりしていた若い時と違い、今は上手く弾ける・弾けないということを超えた何かを表現したい、とお話されます。

「弾いている本人が楽しんでいるということは、聴衆にも伝わるのかもしれない。」ベテラン4名一期一会の名曲「死と乙女」の豪華共演。是非ご堪能ください！

「人生に於いて大切なのは、思いやり、謙虚さ、気さくな広い心、親切さと正直さだと思ってる。これを読んでもれる全ての人に愛と平和、そしてグルーヴ♪を!!!」

(カローノ、本人インタビューより)

セルジオ・カローノ / チューバ

次田 心平 チューバ

染谷 太郎 ドラム / 橋本 礼奈 ピアノ

12月22日(金)18:45開演 3,500円(学生2,100円)【指定】



12月15日(金)18:45~の佐藤和彦さんテューバリサイタルに続き、22日にはセルジオ・カローノさんと次田心平さんが登場！今回名古屋初登場となるスター奏者・カローノさん。ポルトガルの首都、リスボンから100km程北に位置する小さな町、アルコバサ出身の彼は幼い頃から吹奏楽に親しみ、最初はトランペット、そしてファゴットを試し、当時の先生のすすめでチューバをはじめました。トランペットの経験から既に運指はマスター済、何よりその音に、一目惚れならず一耳惚れをしたそうです。

音の質、チューニング、リズム、そしてフレージングを最も重要視するカローノさん。古典からジャズ・即興まで幅広いジャンルの音楽を手掛け、共演者も異なる文化背景をもつ様々な国の方達。その為自分の確固たる“演奏スタイル”を明確に持ち合わせておられ、その練習法は極めて実用的。毎日のスケール(音階)練習は欠かさず、地道な積み重ねを忘れません。確かにどんな旋律も分解してみるとスケールの組み合わせが多数。「全ての楽器、特にチューバは人の歌声のような音を目指すべき。人の声こそが完璧で、全ての楽器の中で一番自然なのだから…チューバは金管楽器であることを忘れさせるくらいに自然に歌えるようにしたい」と仰います。

ニューオーリンズの街角で流れるブラスバンドからオーストラリアの先住民による打楽器演奏まで…ジャンルの垣根なく音楽を楽しむカローノさん。「音楽を楽しむ、演奏することは僕にとってビタミンやプロテインといった栄養を身体に採り入れるくらい大切なことなんだ！」

その魅力溢れる演奏をお楽しみに！

溢れる詩情と、鋼(はがね)の様に強靱な指。
この相反するように思えるふたつの要素を
完璧に持ち合わせたピアニスト、ここにあり
(フィガロ紙/フランス)

オリヴィエ・ギャルドン ピアノ

2018年1月8日(月・祝)14:00開演 3,000円
(学生1,800円) [指定]



1971年と73年のロン＝ティボーコンクールは、パスカル・ロジェ、ジャック・ルヴィエ、そしてオリヴィエ・ギャルドンというフランスが誇るピアニスト達を世に送り出しました。今年1月当館で来演したロジェさんがその素晴らしい演奏を聴かせてくれたのは記憶に新しいですが、その後ギャルドンさんが「宗次

ホールの響きが素晴らしいと、友人のロジェから聴いたんだ、是非僕も演奏をしてみたい」と嬉しいメールを下されたのが事のきっかけ。なんでも「大の飛行機嫌い」だそうですが、今回別のマスタークラス等でちょうど招聘されている貴重な機会をキャッチし、この値段で公演開催できる運びとなりました。

プログラムについてお尋ねすると、ベートーヴェン「悲愴」、ドビュッシー前奏曲とムソルグスキー「展覧会の絵」。てっきりフランスものメインになるものと思っていたので意外でしたが、「展覧会の絵」の録音を拝聴するとこれがまた素晴らしい。数多のピアニストが弾くこの作品。上手いとか技術がどう、とかそういう次元はもちろん超えて、単純に「ああ、この人の展覧会の絵、ものすごく好きだわ」と私は思いました。好きなものに理由はないですからね、言葉で説明するのは難しいですが、そのパワーと構築力の絶妙なバランス、和音のバランス、間のと리카た…この辺りはもうセンスの成すものだと思うのです。

最後に、彼に師事していた我が友人からのギャルドンさんについての言葉を。「私の中での彼の印象は、とにかくテクニックがすごいってこと。弾けない曲がない。ソロ・室内楽・協奏曲とすごいレパートリー。フランス人だから、フランス物が血っていうのは勿論だけど、意外とドイツロマン派とかロシア物が素晴らしい。ダイナミックなだけじゃなく、とっても繊細でリリカルな歌心がすごくあった。あとは、私が師事していた頃は、彼の生徒がロン＝ティボーで1位になって、一躍先生も人気になったよ。」あとは日本の家電もお好きだとか◎

お得なスイーツタイムコンサート ¥2,000

13:30開演 自由席 ※終演15:00予定

プレゼントチケット(ギフト券セット購入のおまけ等)2枚で入場可能

★チャリティーシート(指定席)AB列中央付近23席限定

スイーツタイムコンサートは、これからクラシック音楽を聴いてみたい、昼間に本格的な演奏を楽しみたい、という方にぴったり。国際的に活躍する演奏家から気鋭の若手まで、2,000円ではお得すぎる素晴らしい演奏家達です!

12月7日(木)

アーナウド・サスマン (ヴァイオリン)

碓井 俊樹 (ピアノ)



巨匠イツァーク・パールマンに才能を見出されたというサスマンさん、今回記念すべき初来日。お人柄がよくわかるインタビューをご紹介します!!

(The Violin Channelより)

- (質問)空いている時間のお気に入りの過ごし方は?
○(答え)YouTubeで動画を見まくること!ドキュメンタリー物とか大好きです。
- 携帯電話の電話帳に入ってる、一番の有名人は誰?
○はは、イツァーク・パールマンです。
- あなたが自分の手本としている人は?
○まず両親、それから音楽の面ではイツァーク・パールマンを始め、今まで師事した全ての先生方です。
- 苦手なことは?
○練習、って言っちゃっていい?(笑)いや、冗談。練習は好きだよ。早朝に起きて飛行場に行くのが苦手かな。
- 新しい発明品を作るをすとしたら何にする?
○作品をいつも完璧に演奏してくれる、機械!ははっ。
- 周りの人が知り得ない普段のあなたの姿は?
○毎日とにかく練習しまくってるところ。

他にも、「自分の録音で気に入っているものはない」とか「失敗した、と思った演奏会は山ほどあるヨ…」等のお答えをされつつも、最終的にご自身を「楽観主義」と言われる通り、前向きな力と求心力のあるサスマンさん。YouTubeで彼の演奏を聴いてみると、温もりある音がとても魅力的。数々の受賞・共演歴を誇る彼の演奏をスイーツタイムで聴けるのはとても貴重ですよ!

12月19日(火)小野 明子 (ヴァイオリン)

益田 正洋 (ギター)

「一緒に演奏をしていて弾きやすい、和みやすい。お互い割とカチッとスタイルを決めていないんですけど、だからこそ臨機応変にお互いのアイデアを取り込んでいけます。自然体でいける感じ」と小野さん。お二人は共演歴10年以上に渡り、「益田さん以外のギタリストの方とは共演しない。しっくりきたパートナーに会ってしまったので、これ以上求めることはないですね(笑)」とおっしゃる程に、相性抜群のアンサンブル。ヴァイオリンとギターとなると音のバランスも難しいものですが、「ギターが頑張りすぎると目立ってしまい、共演者の音量も上がってバランスがとれなくなる。だから無理をせず、対抗しない。最終的に室内楽ですから、良いハーモニーにならないといけないから」と益田さん。楽しいトークも大評判のおふたりです♪どうぞ、お越しください。

●記載公演いずれもチケットございます!

チケットのご予約・お問い合わせは
宗次ホールチケットセンターへ

☎ 052-265-1718

※12月28日～1月2日は休館です